

聖書が語る 恋愛、結婚、子育て



講師：テモテ・コール師

(ファミリー・フォーラム・ジャパン代表)



ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

目次

セッション1「神の形に創られて」	1
A. はじめに	1
B. 男と女とに創られた（創世記1：26～27）	1
C. おわりに	2
セッション2「相応しい助け手」	3
A. はじめに	3
B. 創世記2：4～17から	3
C. 創世記2：18～23から	3
D. おわりに	4
セッション3「夫婦の絆」	5
A. はじめに	5
B. 創世記2：24から	5
C. おわりに	6
セッション4「墮落と贖い」	7
A. はじめに	7
B. 墮落の経緯	7
C. おわりに	7
セッション5「頭と体」	9
A. はじめに	9
B. キリスト、教会、結婚	9
C. 結婚の「ドラマ」	9
D. おわりに	10
セッション6「愛と尊敬の証」	11
A. はじめに	11
B. 愛と尊敬	11
C. おわりに	12
セッション7「主が家を建てるのでなければ」	13
A. はじめに	13
B. アブラハムとイサク（創世記22：1～14）	13
C. おわりに	14
セッション8「親の心構え」	15

A. はじめに.....	15
B. 子育ての基本.....	15
C. おわりに.....	15
セッション9「親子の絆」.....	17
A. はじめに.....	17
B. 聖書の事例（創世記 25：20～28）.....	17
C. 健全な絆の重要性.....	17
D. おわりに.....	18
セッション10「しつけの意味」.....	19
A. はじめに.....	19
B. しつけとは.....	19
C. しつけの実践.....	20
D. おわりに.....	20
セッション11「思春期への備え」.....	22
A. はじめに.....	22
B. 思春期の課題.....	22
C. 思春期のダビデ（1サムエル 16：5～13）.....	23
D. おわりに.....	23
セッション12「信仰の継承」.....	25
A. はじめに.....	25
B. 家族への戒め.....	25
C. おわりに.....	25

セッション1「神の形に創られて」**A. はじめに**

1. 電話での会話を考えて
2. 世界観とは
3. 日本人の主な世界観
 - a. 多神論
 - b. 無神論（ヒューマニズムを含める）
4. 非聖書的一神論
5. 聖書の世界観
 - a. 創造者の神（創世記1：1、イザヤ44：24）
 - b. ご自分の真理を啓示される神（ヘブル1：1、詩篇19：7～11）
 - c. 結婚や家庭についても啓示される神
6. これからの学び
7. 正確な聖書の理解を得るためには
 - a. 原語の理解
 - b. 文脈の理解
 - c. 関連箇所との兼ね合い
 - d. 歴史的／文化的背景の理解

B. 男と女とに創られた（創世記1：26～27）

1. 「われわれ」の意味
2. 神の「われわれ」らしさ
 - a. 一体性
 - b. 多様性
 - c. 親密性
 - d. 支配性

3. 創造された人 =神の形
神の形 =創造された人
↓ ↓
男と女 =創造された彼ら

4. 人間のジェンダー意識も異性間の親密感も神の形を反映している

C. おわりに

1. ジェンダーにとってこの真理の意味は
2. 結婚にとって
3. 霊的理解にとって



ディスカッションのための質問

- 世界観とは何でしょうか。何に例えられますか。最も身近にいる人々の世界観はどういうものでしょうか。
- 聖書を正しく解釈するために考慮しなくてはならない四つの要素は何ですか。
- 恋愛、結婚、子育てを考える時、なぜ聖書を中心にする必要があると思いますか？
- 神の「われわれ」という表現は男女の結婚にとってどのような意味がありますか？
- 私たちの社会には、男女の違いをなくし、同じ扱いをする傾向があるのでしょうか？ 聖書が示す男性らしさ、女性らしさとは何でしょうか。
- サタンはなぜ結婚を攻撃し破壊しようとするのでしょうか？

セッション2「相応しい助け手」**A. はじめに**

1. 「男と女の物語」
2. 性教育の在り方
 - a. 神の形に創られた男と女
 - b. 異性の絆
 - c. 命の源
 - d. 性行為に関しては
3. 創世記1章と2章
 - a. 1章は創造の全体図（人間に関しては1：26～29）
 - b. 2章は人間の創造の詳細
4. 啓示の積み重ね

B. 創世記2：4～17から

1. 地から創られた男（2：4～7）
2. 地に「仕える」使命感（2：15、1：28）
 - a. 耕させ
 - b. 守らせ
 - c. 従える
3. 神の命令（2：16～17）

C. 創世記2：18～23から

1. よくないこと（2：18）
2. 相応しい助け手（2：18～20、1コリント11：8～11）
 - a. 言葉の意味
 - b. 動物に名をつけた意味
 - c. 孤独な男

3. 男から創られた女（2：21～22、エペソ5：28～29）

4. 男の感激（2：23）

D. おわりに

1. 男女の役目と価値

2. 夫婦の使命感の自覚

3. 夫婦の感激



ディスカッションのための質問

- 「ひとりぼっちのアダム」を聞いてどう思いましたか？
- 聖書に基づいた性教育と世間一般の性教育にはどのような違いがありますか？
- 聖書の教える「助け手」の意味と男女の役割について話し合しましょう。
- 「アダマ」と「アダム」、「イシュ」と「イッシャー」はどのような意味でつけられた名前でしょう？
- 男に委ねられた「使命」とは何でしたか。現代の夫婦が共有する聖書的な「使命」は何だと思えますか。
- アダムが感動したことは何でしたか。現代の夫婦たちはこの感動をどう体験できるでしょうか。

セッション3「夫婦の絆」**A. はじめに**

1. 出会いの物語
2. 結婚後の苦闘や衝突
3. 今日のテーマ：創世記2：24
4. #1、#2の復習

B. 創世記2：24から

1. どのように二人は一体となるのか
2. 「結び合い」＝「ダバク」（ヘブル語）、「コラオ」（ギリシャ語）
語源は「接着する」「しがみつく」「合わせられる」という意味
3. 一体となるための「接着」、「絆」（*マルコ10：9の「くびき」）
 - a. 霊的接着（2コリント6：14）
 - b. 感情的接着（雅歌8：6～7）
 - c. 意志の接着（マラキ2：13～16）
 - d. 性的接着（創世記4：1、箴言5：15～18、1コリント6：16）
*マルコ10：9の「結び合わせた」と2コリント6：14の「つりあわぬくびき」は同じ語源からで、それぞれ「くびきで繋がれた」と「違う者同士のくびき」と直訳できる。
4. セックスレス結婚の問題（1コリント7：3～5）
5. 結婚の絆を脅かすものは
 - a. 暴力、怒り
 - b. 依存、中毒
 - c. 不倫
 - d. 忙し過ぎ
 - e. 個人の主張

6. 未婚の者への忠告

C. おわりに

1. 一体にするもの 対 引き離すもの
2. 離婚に関して（マルコ 10：2～9）



ディスカッションのための質問

- エスカレーターのとえとその意味について話し合しましょう。何故夫婦が一つになるのが困難なのでしょう。
- 4つの接着剤とその意味は何でしたか？
- 日本人の多くの夫婦が「セックスレス結婚」になる理由は何だと思えますか。
- 夫婦関係を壊す要因について話し合しましょう。あなたが特に警戒しなければならないものは？ どういう手段でその誘惑に立ち向かいますか？
- 夫婦の「接着」（絆）を強めるためにはどうすれば良いのでしょうか。

セッション4「墮落と贖い」**A. はじめに**

1. かたくなな心による離婚
2. その原因は（ヤコブ1：14～15）

B. 墮落の経緯

1. グラスと水の例（創世記2：25）
2. 透明性がある夫婦関係
3. 女がしたこと
 - a. 神への疑い # 1（創世記3：1）
 - b. 神への疑い # 2（創世記3：4～5）
 - c. 優先順位の崩れ（創世記3：6）
4. 男がしたこと
 - a. 役割の放棄（創世記3：6）
 - b. 優先順位の崩れ（創世記3：12）
5. 罪の原因は
6. 罪の結果 # 1（創世記3：7～8、21）
7. 罪の結果 # 2（創世記3：12）
8. 罪の結果 # 3（創世記3：15～16） * 4：7「恋慕う」を注目

C. おわりに

1. 罪の裏には偽りが（ヨハネ8：44）
2. 夫婦の透明性をみいだすには

3. 支配でなく、互いに服従し、仕える関係
4. 第一のアダムと第二のアダムから学ぶこと（ローマ5：19～20、1コリント15：45）



ディスカッションのための質問

- 夫婦は、どのようにしてマルコ10：2～9の離婚に至る「かたくなな心」になってしまうのでしょうか。
- ヤコブ1：14～15は何を教えてくださいか？ 誘惑と罪が進む段階はどのようなものですか？
- 水の入ったグラスは何を描写していましたか。その意味について話し合みましょう。
- エデンの園での誘惑はサタンの策略について何を教えてくださいか？
- アダムとエバにとって、罪に陥ってしまったことで夫婦関係はどのように変わりましたか。
- このレッスンからキリストの贖いと夫の役目について何を学びましたか。

セッション5「頭と体」**A. はじめに**

1. 男性の脳と女性の脳
2. エペソ5：22～33に関する著者の目的

B. キリスト、教会、結婚

1. 神の奥義＝キリストが全ての頭となること（エペソ1：9～10）
2. キリストの体としての教会（エペソ1：22～23）
3. 体は頭に相応しく成長すべき（エペソ4：15～16）
4. 結婚はこの奥義の反映（エペソ5：32）
5. 夫も妻も「ドラマの役者」

C. 結婚の「ドラマ」

1. エペソ5：21の目的
 - a. 互いへの在るべき態度
 - b. エペソ5：21～6：9までのテーマの紹介
2. 「頭」としての夫の在り方（エペソ5：23）
 - a. 導く者の最善を求める
 - b. 優しさと力強さのバランス
3. 「体」としての妻の在り方（エペソ5：22、24）
 - a. 「フポタソー」の意味
 - b. 「エン・パンティー」の意味
4. 服従の原則
 - a. 神の基準に反しない
 - b. 頭としての務めを認めて

- c. 常識的に
 - d. (服従はこれとは違う)
 - e. 例
5. キリストらしい愛とは (エペソ 5 : 25)
- a. 目的 # 1 (エペソ 5 : 26)
 - b. 目的 # 2 (エペソ 5 : 27)
 - c. 自分の体のように (エペソ 5 : 28)
6. 愛する夫になるには (ピリピ 2 : 7)

D. おわりに

1. 相応しくない夫や妻
今週の課題は：
2. 結婚の使命が明らかに



ディスカッションのための質問

- エペソ 1 章～4 章にはキリストは頭 (かしら) であることが何度かでてきます。それは結婚とどう関係がありますか。
- 結婚は何を反映していますか。なぜコール師は「夫婦はドラマの役者」という表現を使ったのでしょうか。
- 妻が夫に従う 3 つの原則は何でしたか。
- キリストのような愛とはどのようなものでしょうか (エペソ 5 : 25～28)。コール師の飼い犬の例話を思い出して考えましょう。
- 夫が妻を愛する 2 つの目的は何でしょうか。
- 尊敬するにふさわしくない夫であっても、また愛するにふさわしくない妻であったとしても、尊敬し、愛しなさいと教えられました。それはなぜですか。そしてだれに向けて愛と尊敬を表すことができるのでしょうか。

セッション6「愛と尊敬の証」**A. はじめに**

1. ピサの斜塔での会話
2. 男性と女性を理解するには
 - a. 男性の特徴
 - (1) 尊敬の必要性
 - (2) 肯定される必要性
 - (3) 妻子を養う必要性
 - (4) 性的に求められる必要性
 - (5) 目からの誘惑に弱い
 - (6) 妻に美しくいてほしい
 - (7) ロマンスを求めるが...
 - b. 女性の特徴
 - (1) 愛情の必要性
 - (2) 同時に様々な感情
 - (3) 感情が理解される必要性
 - (4) 感情的な安心感／親密感の必要性
 - (5) 性的関係は夫ほど必要としないのは
 - (6) 夫に美しいと思われる必要性

B. 愛と尊敬

1. 「愛と尊敬」の理解の足りなさ（エペソ5：33）
2. ペテロ3：1～7のメッセージ
 - a. 聖なる者に（1ペテロ1：15～16）
 - b. 神を伝えるために（1ペテロ2：9）
 - c. 行動の証（1ペテロ2：12～13）
 - d. 指導者や主人（1ペテロ2：13、2：18）
 - e. キリストの模範（1ペテロ2：21）
3. 妻の服従の結果（1ペテロ3：1～2）
4. 恐れずに信じたサラ（1ペテロ3：6）

5. 妻を理解する夫（1ペテロ3：7）
6. 「フォボー」と「ティメイー」の違い

C. おわりに

1. 身近な者をキリストに導くチャレンジ
2. 違った窓から見渡す夫と妻
3. 1ペテロ3：8～9



ディスカッションのための質問

- 男性の特徴と女性の特徴についてどう思われましたか。納得しましたか。理解が難しいポイントはありましたか。
- 1ペテロ3章1節の「おなじように」とは1章～2章の何を指していますか。
- 今回のレッスンから妻の服従についてどのようなことを教えられましたか。
- 2種類の尊敬、「フォボー」と「ティメイー」の違いは何でしたか。それぞれだれに向けられるものですか。
- ノンクリスチャンの妻、また夫を持つ人は、キリストに導くためにはどのように相手を扱うべきであると今回学びましたか。
- 夫婦は違う窓から外を見ているという話がありました。あなたは伴侶と違う窓から見ていたと思いますか。

セッション7 「主が家を建てるのでなければ」**A. はじめに**

1. 7人家族の北京旅行
2. 日本の少子化
3. 地方の嫁・婿探し
4. 聖書の立場
 - a. (詩篇 127：3～5)
 - b. 神の「家族計画」
 - c. (詩篇 127：1)
5. 家庭と子育てに関する神の目的は

B. アブラハムとイサク (創世記 22：1～14)

1. アブラハムについての復習 (創世記 22：1～2)
 - a. ユダヤ人とアラブ人の先祖
 - b. 三つの約束
 - c. 子孫の問題
 - d. イサク＝「笑い」
 - e. いけにえの命令
2. 神に対する疑問
 - a. アブラハムの反応 (創世記 22：3)
 - b. 愛情、信頼、神のご計画
3. 高まる緊張感 (創世記 22：4～8)
 - a. コール家の体験
 - b. 子供による信仰の試し (ヘブル 11：17～19)
4. イサクの反応 (創世記 22：9)
 - a. 神を示す親の在り方
 - b. 子供をつまづかせるなら

5. テストに合格！（創世記 22：10～12）
 - a. 2000 年後の親子
 - b. 鏡のように映しあう神とアブラハム
 - c. 神の子羊（創世記 22：13～14）

C. おわりに

1. アブラハムと私たちの関係
2. 代々への祝福
3. 子育ては信仰の業



ディスカッションのための質問

- 今日の少子化（子供を生まない現象）の原因にはどのような要因がありますか。
- 「神さまの家族計画」はどのように知ることができるのでしょうか。
- アブラハムやコール師自身の体験談から何を学びましたか。あなたも子供を通して信仰が試された経験はありますか。そのテストに合格しましたか。
- 父親との関係は、子供が抱く「父なる神」のイメージにどのような影響を及ぼしますか。
- 創世記 22 章にあるアブラハムがイサクをささげた記録は、新約聖書の何を暗示していますか。ここでは親子関係についてどのような模範が見られますか。
- クリスチャンの親の使命は何ですか。「親業は信仰の業」という表現をどう思いましたか。
- 詩篇 127：1 は、私たちの家庭と育児に関してどのようなことを教えてくれますか。

セッション8 「親の心構え」**A. はじめに**

1. 1983年8月15日
2. 最も尊敬する親
 - a. その人生が変わった瞬間（ルカ1：30～31、マタイ1：20～21）
 - b. 子育ては信仰の業

B. 子育ての基本

1. 子育ての地図と羅針盤（エペソ6：4）
 - a. 子育てに成功した例（ルカ2：40、52）
 - b. 神の使命に向かった成長
 - c. 母子密着型の子育て
2. 計画性の必要
 - a. 感情面、しつけ、ライフ・スキル、霊的な面
 - b. 方針の統一性
 - c. 現実的で柔軟な
 - d. 「おこらせてはならない」の意味（エペソ6：4）

C. おわりに

1. 必要な「大人らしさ」
2. 重要な「親らしさ」
3. 大切な「夫婦らしさ」
4. 自信を持って育てましょう



ディスカッションのための質問

- 人が親になる時、多くの変化が起きます。それに向けてどのような心の準備ができるでしょうか。マリアとヨセフはどうしてそれに対応できたのでしょうか。
- 私たちの子育ての「地図と羅針盤」となるものは何でしょうか。
- エペソ6：4に見るクリスチャンの親の大きな目標は何ですか。
- 母子密着型の子育ては子供の将来にどのような影響を及ぼす恐れがありますか。
- エペソ6：4の「父たちよ、あなたがたも、子どもをおこらせてはいけません。」を考える時、何を避け、どのようなことを心掛けるべきでしょうか。
- 私たちは親として失敗もする不十分な存在であっても、神さまは誠実な方であるから神に信頼できることを教えられました。今まで神さまに子育てを助けられた経験はありますか。互いに励まし合いましょう。

セッション9「親子の絆」**A. はじめに**

1. 日経新聞（2010/11/20）の子供調査

2. 父親と母親の違い

- a. 絆と関わり
- b. 親子の関わりに関する調査

http://www.benesse.co.jp/jisedaiken/research/pdf/research12_sokuhou.pdf

B. 聖書の実例（創世記 25：20～28）

1. イサクの概要

- a. 子供の特徴
- b. 親の傾向

2. 問題の歴史とその結果

- a. イサクの背き
- b. リベカの欺き
- c. 不適切な絆の結果
- d. 健全な絆の目標（創世記 18：18～19）
- e. エサウが望む祝福（創世記 27：34～35）
- f. ヤコブのえこひいき（創世記 37：3）
- g. エサウの子孫の歴史

3. 親子の関わりの在り方

C. 健全な絆の重要性

1. 信仰の継承、信頼関係、親に対する尊敬にとって

2. 自尊心にとって

- a. 律法主義の日本社会
- b. コーチの在り方から学ぶ
- c. 自尊心がない結果

3. ジェンダーの発達にとって
 - a. 心理的誕生
 - b. 男らしさ、女らしさの継承

D. おわりに

1. 親子の絆を優先させる必要性
2. 感動の共有
3. やり直せる希望

*イサクの家族問題に関しては、創世記 25：20～34、27：1～28：10 をご参照ください。



ディスカッションのための質問

- エサウとヤコブの親子の問題で何を学びましたか。イサクはエサウを愛したために何を無視しましたか。リベカの問題は何でしたか。
- それは後の世代にどう影響しましたか。
- 子供の自尊心を育てることについて話し合みましょう。スポーツコーチの実例から親が学べることは何ですか。
- ジェンダーの発達については何を学びましたか。子供は何歳ごろからジェンダーアイデンティティーを求め始めますか。どのような問題の例があげられましたか。
- 自分の子育てに関して今から変えたいことは何ですか。もう手遅れだと思うことはありますか。神さまには不可能なことはありませんので、ここでしばらくお祈りをし、親としての過去の過ちを神さまに委ねましょう。

セッション 10 「しつけの意味」**A. はじめに**

1. トライアスロンを体験して
2. 子育てとの関連
3. ヘレン・ケラーに見るしつけの重要性

B. しつけとは

1. 訓練と教育
 - a. Discipline-Disciple-Discere (英語：しつけ—弟子—学ぶ)
Mathetes-Manthano (ギリシャ語：弟子—学ぶ)
Paideia-Paideuo-Paidion (ギリシャ語：しつけ—懲らしめる—子供)
 - b. 「おこる」こと、「しかる」こと
 - c. 子供の最善を目指して
2. 聖書が示す神の模範 (ヘブル 12：5～13)
 - a. 神の愛の現れ (ヘブル 12：6)
 - b. 私たちの益のため (ヘブル 12：10)
 - c. 義の実を結ぶ (ヘブル 12：11)
 - d. 強められる必要 (ヘブル 12：5、12)
3. 信仰者にとっての懲らしめの意味
4. 子供にとっての懲らしめの意味
 - a. 子供の性質 (箴言 22：15)
 - b. 将来に向けての訓練
 - c. 苦しいが大切
5. 懲らしめが無い結果
 - a. 自己中心のまま
 - b. 人生の嵐に備えられてない
 - c. 心が神に向けられてない

6. 年齢によるしつけの在り方
幼児 → 子供 → 思春期 → 大人

C. しつけの実践

1. 指図の確認
2. 一度だけ
3. 一貫性の大切さ
4. 「スパイク」に関して
 - a. 冷静な判断
 - b. 子供との対話
 - c. 理由の説明
 - d. 3回が限度
 - e. 愛情の再確認
5. ほめることの大切さ

D. おわりに

1. 目標を忘れずに
2. 積み重ねの重要性
3. 間違った時には
4. 子育ては信仰の業



ディスカッションのための質問

- ヘブル12章5～13節にはどのようなしつけの模範が書かれていますか。
- しつけの動機は何であるべきですか。その目的は何であるべきでしょう。

- 箴言 22：15 によると、子供の生まれつきの状態はどのようなものでしょうか。
- しつけられていない子供にはどのような問題が生じるでしょうか。いくつかポイントをあげてみましょう。
- 幼児のしつけ、小学生のしつけ、十代のしつけの方法の違いは何ですか。
- 小さな子供に対するしつけの 5 つの原則とは何でしたか。
- スパンクする（お尻を叩く）条件とその正しい方法について話し合みましょう。
- 今しつけで一番困っていることと、この講義から教えられたことを分かち合みましょう。

セッション 11 「思春期への備え」**A. はじめに**

1. 「ものの成り行きに任せた」親
2. 思春期の困難
3. 「思春期」の歴史
 - a. 200 年前までは
 - b. 思春期の在り方を変えた要因
 - (1) 産業革命
 - (2) 学校運動
 - (3) 消費者社会とメディア
 - c. 「思春期問題」とは
 - d. 聖書に登場する思春期の人物

B. 思春期の課題

1. 性
 - a. 包括的性教育
 - b. 聖書の立場
 - c. アブステナンス教育
2. メディア
 - a. 定義：大衆向けのコミュニケーションの手段
 - b. メディアの目的：収益、イデオロギー、ネットワーキング
 - c. メディアの影響力
 - d. 若者が必要とすること（ローマ 12：1～2）
3. ピア・プレッシャー
 - a. 定義：同じ社会的集団に属する者
 - b. 若者に対する影響
 - c. 大人ができること
4. 自尊心
 - a. 悪魔からの偽り

- b. その影響
- c. 若者が必要とすること

C. 思春期のダビデ（1サムエル 16：5～13）

1. サムエルの選びと神の選び
2. 羊飼いととしてのダビデ
3. 神からの訓練
4. 将来への影響

D. おわりに

1. 思春期の危険性と可能性
2. 親のかかわりの在り方
3. 大人との絆の重要性
4. 神への期待と確信



ディスカッションのための質問

- 「思春期問題」はどのように発生したのでしょうか。関係する3つの現象は何でしたか。
- 「少年Aの5千万円恐喝事件」を考えた時、「思春期問題」に対するもっとも重要な解決策は何でしょうか。
- 思春期の4つの問題とは何でしたか。
- 性教育の問題で、今の日本の若者が受けている「包括的性教育」は基本的に何を教えていますか。

- ダビデの思春期の育ち方、過ごし方は、後になってどのように用いられましたか。
- 思春期に入ると親は十代の子とどのように関わる必要があるでしょうか。それまでの接し方からどう変えるべきですか。
- あなたは自分の思春期の子供を神様の手にゆだねましたか。互いの重荷を負い合い、祈りましょう。

セッション 12 「信仰の継承」**A. はじめに**

1. 日本のクリスチヤンの数を考えて (<http://www.church-info.org/>)
2. クリスチヤンホームの重要性
3. 全国の現状

B. 家族への戒め

1. アブラハムとモーセへの言葉（創世記 18：18～19、申命記 6：1～9）
 - a. 「信仰を押し付けたくない」はどうか？
 - b. 聖句が強調しているのは
 - c. コール家の体験
2. 信仰の継承の失敗を避ける鍵
 - a. 親の模範
 - b. 親子の絆
 - c. 教会とミニストリーとの関わり
3. よくある質問
 - a. 教会出席を子供に強制すべきか
 - b. 伴侶がクリスチヤンでなく、協力的でない時には
 - c. 子供に信仰の話をする時に注意する点は

C. おわりに

1. 教理の他に伝えなければならないこと
 - a. 優先順位と決断の過程
 - b. 信仰の妨害をするもの
 - c. 真理を愛すること
2. 信仰継承の証



ディスカッションのための質問

- 申命記6：7～9が信仰の継承について強調していることは何ですか。
- コール師は子供達に信仰をどのようにして伝えましたか。参考になりましたか。
- 失敗をしないための3つのポイントは何でしたか。
- 子供を教会に行かせることについて何かヒントがありましたか。
- 伴侶がクリスチャンでない時に生じる摩擦に関して考えさせられたことがありましたか。
- 教理とは別に強調すべきこととして「優先順位による選択」、「信仰を妨害するものの理解」、「真理を愛すること」があげられましたが、このことについてどう思いますか。
- あなたの家庭では今何に力を入れるべきだと思いますか。アイディアの交換をし、互いに励まし合いましょう。



無断複製・転載を禁じます

2010年10～12月開催